

株式会社ジーンテクノサイエンス

株式会社日本再生医療の 完全子会社化に関するお知らせ

2020年2月17日

株式会社日本再生医療（JRM）の概要



| | | | |
|------|------|--|--------------------------|
| 会社概要 | 会社名 | 株式会社日本再生医療 Japan Regenerative Medicine Co., LTD . | |
| | 設立 | 2013年10月16日 | |
| | 事業内容 | 再生医療技術・製品、細胞医薬品の研究開発 当該技術・製品の顧客に対する技術提供及び製品・サービスの提供 | |
| 経営体制 | 所在地 | 本社 | 東京都港区芝大門2-5-5 住友芝大門ビル 6階 |
| | 取締役 | 代表取締役社長 | 野口 亮 |
| | | 取締役 | 谷 匡治 (GTSから新たに参加) |
| | | 取締役 | 川上 雅之 (GTSから新たに参加) |
| 監査役 | | 菅原 治 (GTSから新たに参加) | |

2020年2月17日時点

事業内容と成長戦略

基盤技術

- 心臓内幹細胞の基礎技術に関する特許について**京都大学と独占的ライセンス契約**
- **岡山大学より技術移転**を受け、小児先天性心疾患を対象としたJRM-001を開発

ミッション

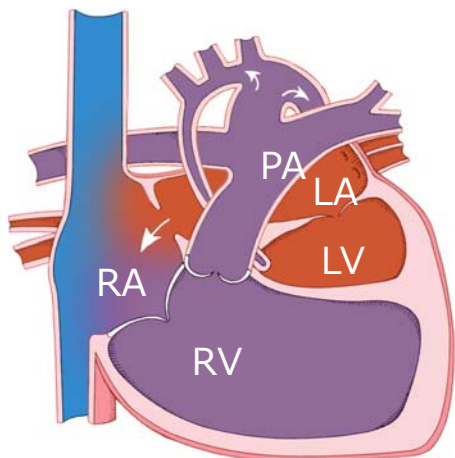
- 従来の医薬品、医療機器では治療することができない**小児先天性心疾患**を対象に、**世界初となる再生医療等製品**の実用化を目指す。

成長戦略

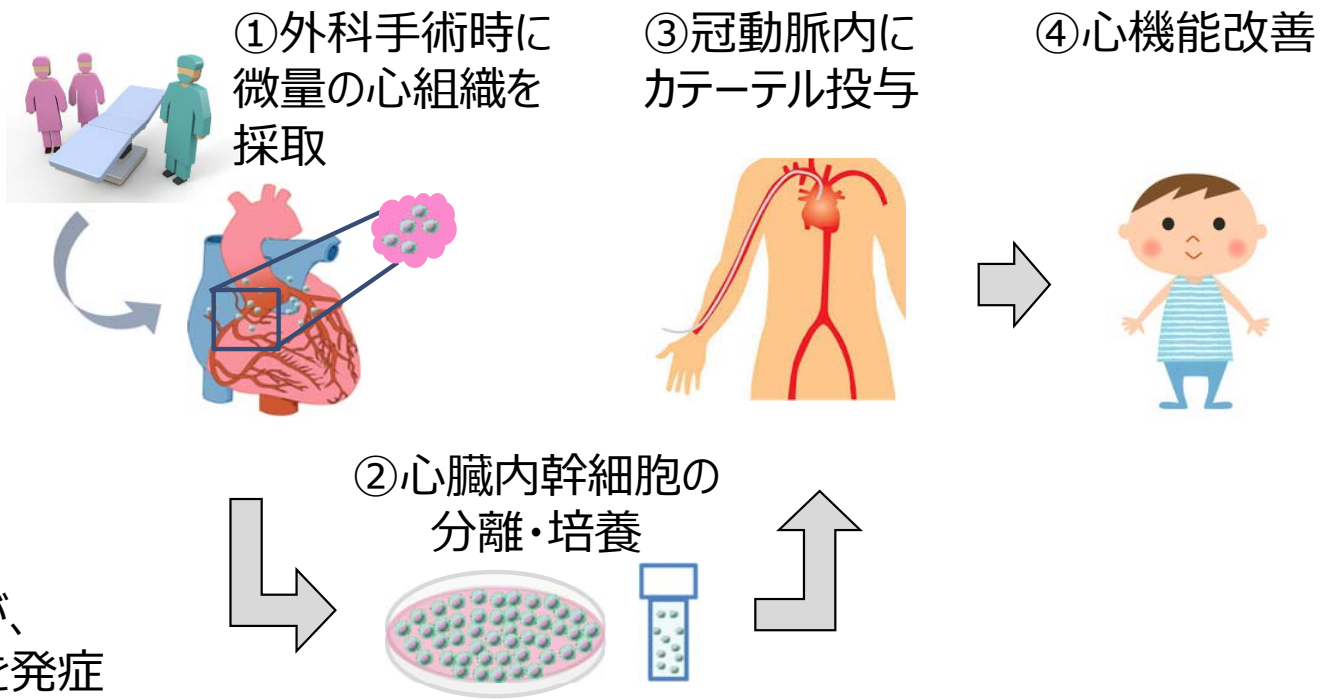
- **バンクの構築と他家移植製品**の開発
- 心機能改善が望まれる**心疾患**へ幅広く適用
- 海外展開

心臓内幹細胞を用いた再生医療開発 (JRM-001)

代表的な機能的単心室症
左心低形成症候群 (HLHS)



一般的な治療方法は外科手術だが、
予後頻繁に心機能低下や心不全を発症



心臓内幹細胞 Cardiac Stem Cells (CSCs)

- 造腫瘍性が低く**安全性が高い**。
- 様々な細胞種に分化する能力の他、**心機能再生に寄与すると考えられる因子を分泌**する能力を持つ。

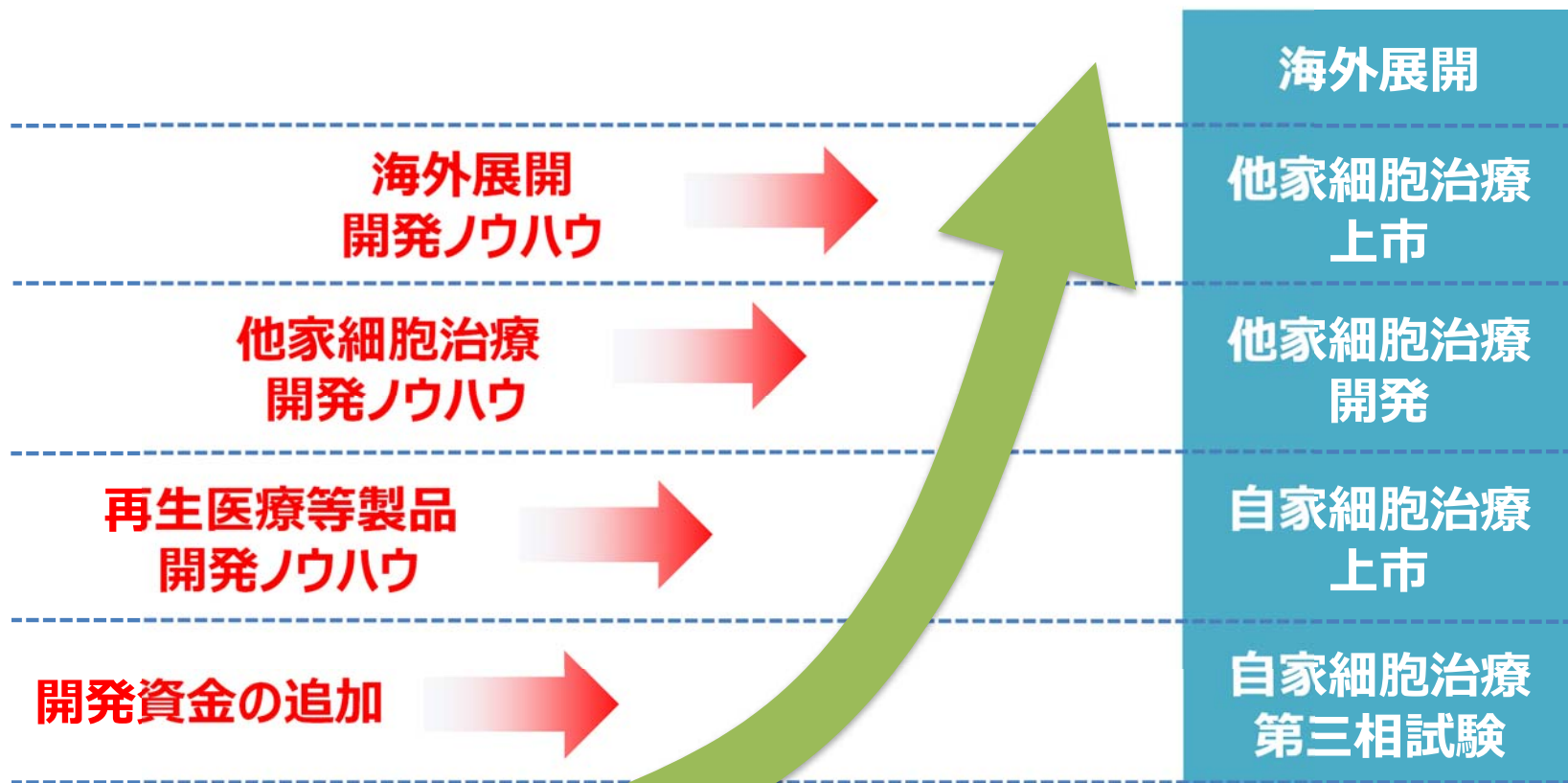
小児先天性心疾患 (機能的単心室症)

- 発症者数は国内推定で**年間400~500名**程度。
- 代表的な機能的単心室症として**左心低形成症候群(HLHS)**が知られる。

JRM-001

- 手術後の心機能改善**を目指した細胞治療法。
- 現在、**検証的治験**を実施中。
- 「**先駆け審査指定制度**」対象品目に指定。

JRMを子会社化する目的



資金やノウハウの追加によって心臓内幹細胞事業のより包括的で積極的な推進が可能に

見込まれるシナジー

- 開発スピードUP
- 開発確実性UP
- 収益UP

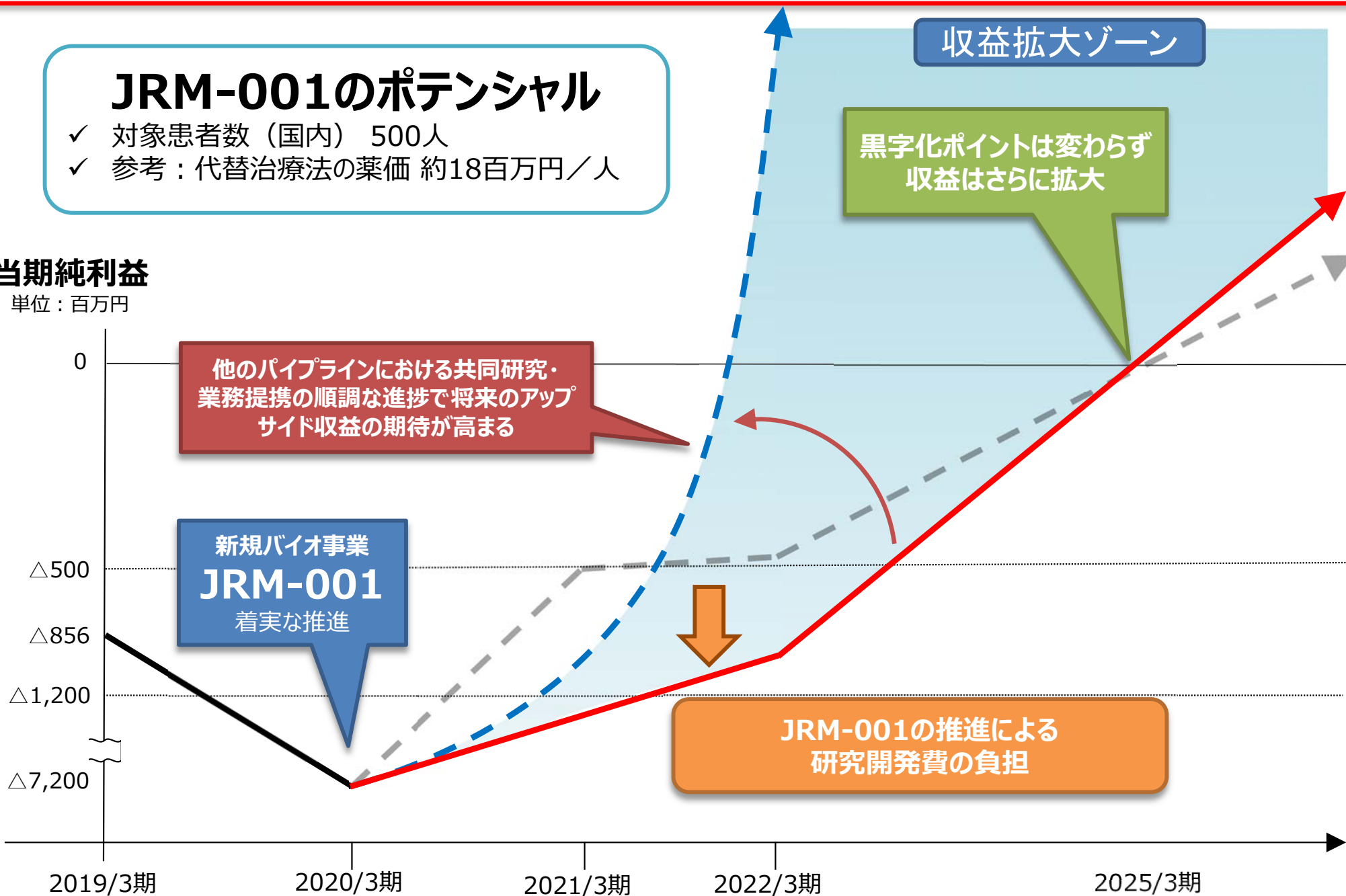
GTS3.0 JRM子会社化に伴う新ロードマップ

JRM-001のポテンシャル

- ✓ 対象患者数（国内） 500人
- ✓ 参考：代替治療法の薬価 約18百万円／人

当期純利益

単位：百万円



再生医療

抗体医薬品

自社パイプライン化

歯髄幹細胞

昭和大学
骨関連

ORTHOREBIRTH
口唇口蓋裂

岐阜薬科大学
眼関連

東京都医学総合研究所
名古屋大学、東京医科歯科大学
4者共同研究
脳性まひ **NEW**

心臓内幹細胞

JRM-001 **NEW**
心臓疾患／小児疾患
機能的単心室症

業務提携

昭和大学
産学連携

住商ファーマ

アイル **NEW**

同仁 **NEW**

SOLA

chromo-
center

GPC

バイオシミラー

GBS-001
がん

GBS-007
眼疾患

GBS-011
腎疾患 **NEW**

GBS-004
がん

GBS-008
感染症

癸巳化成
GBS-012
眼疾患

GBS-005
免疫疾患

GBS-010
がん

新規抗体・製造法開発

GND-001
がん

札幌医科大学
がん **NEW**

GND-004
眼疾患

MabGenesis
がん **NEW**

GND-007
免疫疾患

株式会社ジーンテクノサイエンス



バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー